

令和7年度 基礎看護学演習への 地域住民参加型演習の報告

12月2日（火）横須賀キャンパスの学内実習ステーションと各実習室において、看護学科1年生の看護技術論Ⅰ「地域住民参加型演習」を行いました。

核家族化や地域における人のつながりの希薄化がすすみ、日常生活において学生が「ひと」と出会う機会は減少しています。実習先で患者さんとのコミュニケーションを難しく感じる学生も増えています。

そこで、看護学科1年生の看護技術論Ⅰの授業で、地域の高齢者の方に学内実習ステーションにお集まりいただきました。そこで学生と高齢者の方とのコミュニケーションや血圧や体温測定を行い、学生のコミュニケーション能力の向上、看護技術力の向上を目指す演習を行いました。

学生はこの演習により自分の課題・強みを理解し、今後の実習に向けた基盤を築くことができました。地域の高齢者の皆様からも、自分の健康について振り返る機会となるとともに、学生の教育に貢献できた・やりがいがあるなどの評価をいただきました。皆様からいただきましたご意見を活かし、よりよい体制をつくりていきたいと考えております。

今後とも本学の教育にご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



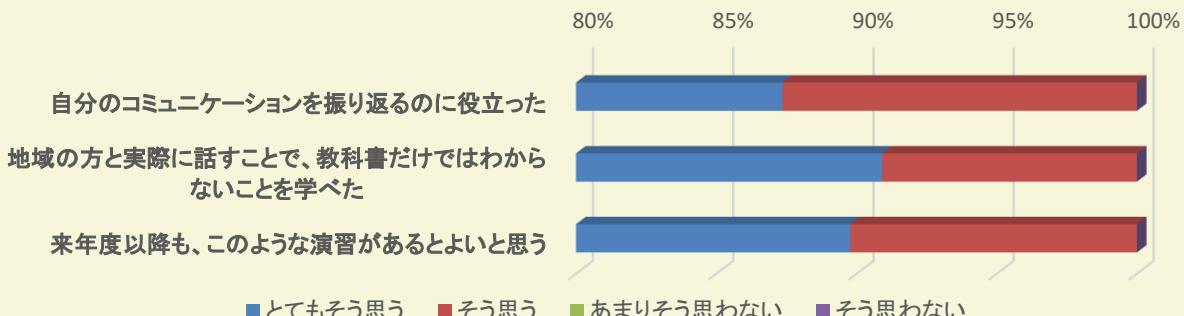
オリエンテーション場面、コミュニケーションや血圧、体温測定をさせていただきました。
最後に学生から参加者の方に感謝状が手渡されました。ありがとうございます！



令和7年度 基礎看護学演習への 模擬患者参加の活動報告

«学生アンケート集計結果»

学生アンケート結果(抜粋)



学生が学んだこと

カテゴリー	主な内容	件数
A. コミュニケーション姿勢	・相手の目を見て、丁寧な姿勢で話すことができた	7件
	・傾聴の姿勢（うなずき、相槌）を保つことができた	
B. 情報収集・質問の大切さ	・事前に設定した質問を漏れなく尋ねることができた	6件
	・患者の発言を参考に、状況を深掘りする質問ができた	
C. 会話の技術・構造	・会話のキャッチボールをスムーズに継続できた	6件
	・自分の考えや判断を分かりやすく伝えることができた	
D. 自己制御・意識	・緊張せず、比較的冷静に対応することができた	4件
	・患者の言葉の裏にある意図を察しようと試みた	

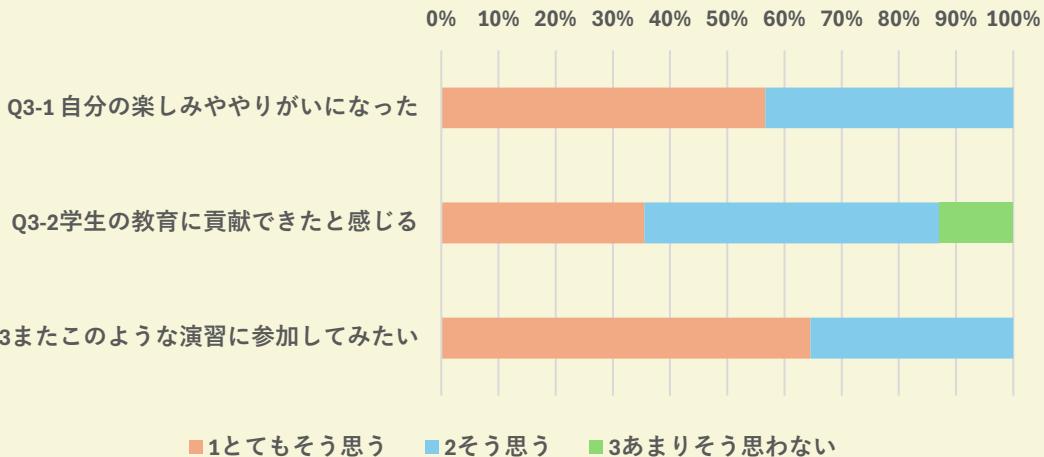
学生が感じた課題・学びたいこと

カテゴリー	主な内容	件数
A. 情報整理・まとめながら聞くこと	・患者の訴えや不安を十分に汲み取ることができなかった	5件
	・患者の発言の要点を掴む、まとめる、整理する能力が不足していた	
B. 質問力・話題の広げ方	・質問が抽象的、曖昧、一方的になり、上手くコミュニケーションが図れなかった	4件
	・相手に配慮した言葉遣いや表現を選ぶのに時間がかかった	
C. 観察力・沈黙や間	・沈黙を恐れて不必要的会話を入れてしまい、間合いが崩れた	3件
	・患者の表情や感情の小さな変化への観察力が不足していた	
D. 時間管理	・質問の順序や流れが整理されておらず、非効率的だった	5件
	・会話の開始時や終了時のまとめが不十分だった	
E. 緊張・自己表現の苦手さ	・不安や緊張から冷静さを欠き、頭が真っ白になってしまった	3件
	・自分の対応に自信が持てず、終始不安そうな態度になってしまった	

令和7年度 基礎看護学演習への 模擬患者参加の活動報告

«模擬患者様アンケート集計結果»

Q3 演習参加について



«ご意見・ご感想など»

○時間配分などのご意見○

「個別の対応をする為に、同じような話をくり返す事にもなるので3人一緒に少し時間をもって対応する方が良い」

「時間があまりなくあつという間に過ぎました」

「会話の時間が短く感じ、楽しかったの一言に尽きますが、この時間帯を成長につなげて頂きたいと思います。人とのつながりが大事な職業を自覚してもらい、同時に自己成長も促して貰いたいと思いました!!」

○課題・改善点○

「質問事項を分けて準備し直す方が良いと思いました」

「話す時間が短いと感じ、もう少し話したい」

「名前を最初に呼ばれる時、聞こえづらかった」

「飲食の物を捨てる所があるとい。」

「気を遣いすぎるように思う。患者、看護師の立場をしっかりと認識して対応しても良いように思う」

○その他のご意見○

「住民参加型演習、取り組みとして今後も期待しています」

「テーマを何か掲げて、それについて自由に意見交換し合うやり方も、ゆるされれば地区の行事等に参加されればもっと地域との交流ができます」

「人によりそう、そして人の命を大切にするお仕事にむかって頑張っていることがよくわかりました。ぜひぜひお体に気をつけてがんばって欲しいです」

「3人共、はっきりした声で聞き取りやすかったです。私達の無駄話が多くて学生さんたちの役に立ったのかが心配です」

「話している時、目を見て笑顔でゆっくりとした口調で接してくれました。話す人に対してしっかり向き合ってくれました」